

乳幼児期の自然体験の実態調査と、 認定こども園等でのモデル事業実施

活動地域  静岡県



自然体験プログラムでめばえた「探究力」

課題

乳幼児期の子どもが人生のベースを築き、主体的に様々な学びを得るためには自然の中での体験が必要だと考えるが、自然に触れる機会が激減していることが課題である。

目標

子どもの自然体験が増え、大人も行動変容の機会が増えることで、自然に目を向け、環境に配慮することや、持続可能な社会づくりを意識して行動できる人が静岡市に増える。

活動内容と成果

認定こども園等3園を対象に、自然度の高い場所にて自然体験モデルプログラムを実施した。同時に、学識経験者とともに評価指標を策定することができた。プログラム評価では、乳幼児期だからこそ「探究力」が育まれ、日常生活でも発揮されていることが明らかとなった。

1、2年目に行った実態調査の結果や、こうしたモデルプログラム評価、保育者や保護者向け自然遊びやリスクマネジメントの動画など、3年間の成果について関係者にわかりやすく発信し、さらに乳幼児期の自然体験を広げていくため、特設サイトを製作し公開した。



今後の
展望

実態調査やモデル事業実施など、3年間の成果を発信していくことで理解者や協力者を増やし、静岡市内の0～5歳児3,000人(人口の5%)以上が自然度の高い場所での遊びを体験できる体制を整えたい。また、3年間の成果物や、構築することのできた行政、学識経験者、保育者とのネットワークをいかして、多様な自然体験のあり方を提案するとともに、自然体験の場を増やすための新たな事業展開を目指していく。

ひろげる助成

3年目

調査研究

自然体験モデル
プログラム実施

120人

動画撮影、YouTubeに
て公開

3本

今年度計画の達成度

90%

目標達成度

80%

苦労した点と工夫した点

■苦労した点

教育の効果をどのように測るのか、事業評価軸の策定がとても難しかった。また、活動内容をふまえたうえでの、アウトプット、アウトカム、上位目標の考え方は未だに難しい。

■工夫した点

新型コロナウイルス禍でのこども園の実態や先生方の声を調査し、ニーズに応えられるような新たなプログラムを開発したり、動画を製作して発信することができた。



プログラムの評価作業

全助成期間の活動を振り返って

3年間を通してニーズ調査を行い、モデル事業を行いながら事業評価軸を策定までさせていただけたのは、組織基盤強化と今後の事業展開において、とても大きい。プログラム評価において予想外の嬉しい成果が多くみられ、スタッフの自信につながり、さらなる事業発展への兆しがみえてきた。さらに、予測不可能な新型コロナウイルス禍でたくさんのチャレンジをさせていただき、次々と新たな事業展開につながっている。

〒422-8002
静岡県静岡市駿河区谷田1170-2
電話：054-263-2866
E-mail：e-info@ecoedu.or.jp
HP：https://www.ecoedu.or.jp/

